

講義名	職業指導Ⅰ（経営学科）		
科目区分	学科専門 展開		
担当教員	中山 一郎		
開講期・曜日・時限	前期 月曜日 5時限	授業形態	
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツ健康コース／2018年度 人間社会学部 人間健康学科 健康マネジメントコース／2018年度 人間社会学部 人間健康学科／2018年度 人間社会学部 観光学科 ホテル・ブライダルコース／2018年度 人間社会学部 観光学科 観光事業コース／2018年度 人間社会学部 観光学科／		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		備考	

主題と概要
商業高校において就職を志望する生徒に対して職業選択の支援を行うための手法を学ぶことを主題とした授業です。商業高校における職業指導は単に企業と生徒とのマッチングだけにとどまらず、それぞれの生徒の自己実現に向けて、人間としてのあり方や生き方を考えさせるものでなければなりません。そのためには高等学校における教育活動全般を通して組織的・計画的・系統的に指導する必要があります。本科目では職業指導の沿革や歴史、知識やスキルを理解することはもとより、主体的に職業を選択する能力を培い、望ましい職業観や勤労観を育成するため、今日的な諸課題をも踏まえて、理論と実践の両面から学んでいきます。

到達目標
商業高校の教員として、生徒一人ひとりのよりよい社会的自己実現に向けて人間としてのあり方や生き方を探求させるための知識やスキル、さらには教育活動全般を通して組織的・計画的・系統的に推進するために必要とされるマネジメント力を修得し、実際の教育現場において活用できるようになることを目標とします。

提出課題
毎回、課題を出題し、レポートを提出してもらいます。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック
面談授業が可能になった時点で、必要に応じてかつ可能な範囲でフィードバックを行いたいと思います。

評価の基準
評価の方法 ① レポートの内容（文字量、内容の質、誤字脱字、視点など） ② 出席回数（レポートの提出をもって出席とみなします）。レポートを5回以上未提出の場合、3分の1以上の欠席と同等とみなし不可とします。 ※ ①②を総合的に評価します。

履修にあたっての注意・助言他
本科目は、教職課程の高一種（商業）免許の教科に関する科目「職業指導」の必修科目（「職業指導Ⅰ」「職業指導Ⅱ」の両方を修得）です。

教科書
. エピソードの就活 ～キャリアカウンセラーが教える7つのステップ～、中山 一郎 見洋書房 1,900円（税別） 978-4-7710-2829-6

プリント資料及び参考文献
プリント資料等を使う場合には、RYUKA Portalの「講義連絡」が「レポート課題提出」に添付します。

授業計画
<ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション ～キャリアという視点からの職業指導～ 2. 意思決定の必要性の自覚Ⅰ（インテーク面接の目的と重要性） 3. 意思決定の必要性の自覚Ⅱ（インテーク面接のスキルと技法） 4. 自己の再評価Ⅰ（フォーマルアセスメントの手法と活用） 5. 自己の再評価Ⅱ（インフォーマルアセスメントの手法と活用） 6. 職業・仕事の特定Ⅰ（業界・業種分野を特定する） 7. 職業・仕事の特定Ⅱ（職業・職種分野を特定する） 8. 選択肢に関する情報収集Ⅰ（業界・業種研究の方法論） 9. 選択肢に関する情報収集Ⅱ（職業・仕事研究の方法論） 10. 応募企業の仮決定Ⅰ（質的調査法に基づく企業の研究と分析） 11. 応募企業の仮決定Ⅱ（質的調査法に基づく企業の研究と分析） 12. 受験までの教育・訓練Ⅰ（応募企業や組織に求められている能力やスキル） 13. 受験までの教育・訓練Ⅱ（能力やスキルを向上させるための資格や講座を調べる） 14. 就職活動に向けてのスキル指導Ⅰ（応募書類の書き方に関する指導法） 15. 就職活動に向けてのスキル指導Ⅱ（面接試験に向けての指導法） <p>* 2020年度前期は遠隔授業（「課題学修型」）を実施するために授業計画は大幅に変更します。ただし授業内容に関しては概ねこの内容を網羅して進めていきます。</p>

授業形態（アクティブ・ラーニング）
ア：PBL（課題解決型学習）
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート
エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション
カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間
授業期間中は基本的には毎日1時間程度、教科書はもとより新聞や関連する本や雑誌を読んだり、あるいはTVニュースやネットを見たりするという習慣をつけてください。その中で特に「職業」「就職」「キャリア」「労働」「教育」「商業」などといったキーワードを含む記事やニュースを必ずチェックするようにしてください。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述
遠隔授業（「課題学修型」）で行うため、PC、スマートフォン、タブレット等を準備しておくこと。レポートの課題は、RYUKA Portalの「講義連絡」と「レポート課題提出」で毎回発表するので、随時確認しておくこと。

実務経験の有無及び活用
実務経験あり 具体的な事例やケーススタディーを紹介します。

備考
教職課程の高一種（商業）免許の教科に関する科目です。これからの商業高校の教員は「教科指導」や「生徒指導」もさることながら「職業指導（進路指導も含めて）」ができるということは必須条件です。受講生は「職業指導Ⅰ」を受講しながら、自分自身のキャリアに関する理解、職業に関する理解、社会に関する理解をも併せて深めていくきっかけにしていきましょう。